

撤去については、市で行うことを条件に、昭和57年3月に無償譲渡され、現在まで供用されてきた。

設置後38年が経過し、老朽化が進んでいることから、平成25年5月に通行止めにしており、地元自治会からも住民の安全・防犯上のため撤去してほしいという要望がある。そこで今回、河川の管理者である宮城県やJR東日本、白石市を含め、撤去について協議している状況である。

教育費

〔質疑〕第一幼稚園の遊具撤去工事について、撤去後に新たな遊具の設置を行うのか伺う。

〔答弁〕遊具撤去については、遊具の点検で経年劣化等により危険と判断されたチエーンネットジャングルという遊具を撤去する予定である。

その後の新設については、園と相談のうえ、新年度予算に計上したいと考えている。

災害復旧費

〔質疑〕鎌先1号線と小久保平原線の災害復旧について、今回の復旧は、原形復旧で終わるのか。それとも、原形復旧に加え何か強度的な工事等も考えているのか伺う。

〔答弁〕鎌先1号線については、災害復旧の基本的なことは原形復旧であるが、今回は原形復旧するブロックに大型ブロックを採用しており、以前よりも頑丈なものを予定している。また、水流が直接ブロックに当たっているため、河川を少し内側に迂回させたかと考えている。

小久保平原線については、市道脇のフェンスが土砂で崩落した。市道の上方に宮城県が実施している災害復旧工事があり、その終了後に市の復旧工事が入る予定である。この災害復旧工事については、原形復旧が基本的な設計となっている。



復旧となる災害現場（左：小久保平原線、右：鎌先1号線）

特別会計

◎平成27年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

〔質疑〕高額療養費について、今回の補正額は5千580万円となっているが、この高額療養費が増えている要因は何か伺う。

〔答弁〕平成27年度10月末までの月平均の一般被保険者高額療養費は、約2千800万円であり、昨年度よりも月平均で500万円増加している。

増加の主な要因は、入院時の医療費の増加である。平成27年3月から6月（4カ月間）の診療分の医療費は約4億4千万円で、昨年度と比べ約1億円増加している。

入院の年齢構成等では、65歳から74歳までの方の入院が増加している。月100万円以上の高額療養費は、昨年度の62件から今年度は100件と約1.6倍である。その治療内容では、がん治療が16人から35人と倍増している。

意見書

12月定例会最終日（12月17日）の本会議に議員提案として次の議案が上程され、表決の結果、全会一致で可決され、意見書については関係機関に送付されました。

◎東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担にやらず平成28年度継続するための財政措置を求める意見書

震災から5年が経とうとしているが、いまだ被災地では雇用確保や生活再建が進んでいない状況にある。被災者の中には、体調不良や持病悪化などが慢性化しており、医療費等一部負担金の免除措置や介護保険利用者負担の減免措置の継続を強く望んでいる。国や県に対し、生活再建に至らない被災者に対する免除措置等の財政支援の継続を強く要望し、地方自治法の規定により意見書を提出する。